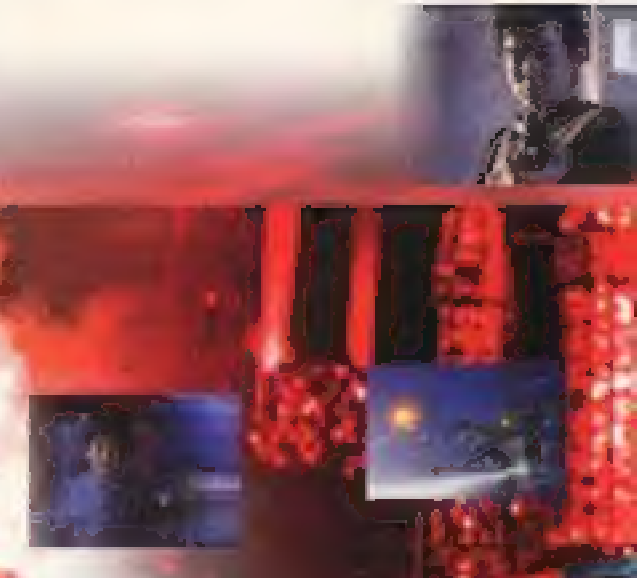

PlayStation
ALIVE

INTRODUCTION

AD2020・・・
17年前、凶悪犯罪がはびこる都市で五人の地区長達が集まった国際会議場がテロリスト達により爆破された。
しかし、セキュリティ社の監視カメラの映像により、犯人は数日後に検挙された。
この事件をきっかけに、ポリスとセキュリティ社との合同による安全監視システムが議会で可決、人々はIDによりデータ管理されることになった。
街のいたる所に密告屋と呼ばれるカメラ内蔵型のフローティング・ラットが飛び交い、五地区を繋ぐ主要幹線には、常に検問が張り巡らされた。
安全監視システムに守られた日常。
しかし、その枠を超える自由は決して許されない。
現在の体制の始まりであった・・・





このゲームには暴力シーンやグロテスクな表現が含まれています。

For Japan Only | プレイヤー 1人 | メモリーカード 5 - 14 | アナログコントローラ対応（振動のみ）

SLPS 01627～9



CONTENTS



カワダ・アツコ

ID No:F43168801
E地区孤児院出身。父母不明。
E地区陸上選手権五種競技において優勝。
現在、E地区POLICECENTERにおいて、研修期間中。
潜伏調査のためA地区に潜入した恋人のアキラとは、一年前から離ればなれである。

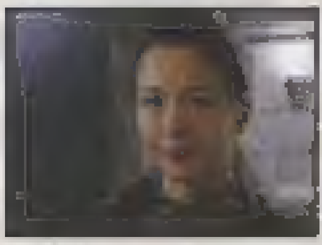


トオノ・アキラ

ID No:F33680112
E地区孤児院出身。父母不明。
A地区JBS報道部員。
現在、17年前の五地区長爆弾[redacted]中。
アツコとはE地区の孤児院で共に育つ。

CHARACTER

A.I.



ヨウコ

17年前の五地区長爆弾殺害事件の犯人として逮捕され、死刑が執行されたはずの女性。何故か、逃亡するアツコを影で助ける。



リョウ

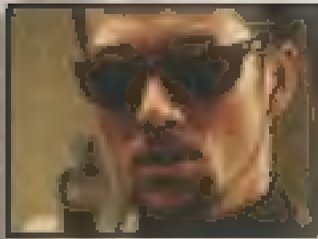
ID No.A00230016
17年前の五地区長爆弾殺害事件のときに施行された、犯罪監視システムの中枢、セキュリティ社の代表取締役。



少年

ID No 不明
逃走するアツコの前に現れる謎の少年。後半アツコの危機を救う事になるのだが…

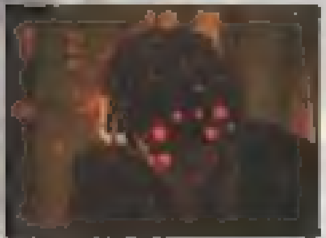




ASSASSIN A

ID No:A57368821

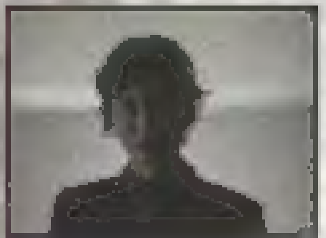
アツコを殺人犯に仕立てるため、ワザと銃を与え 自分を撃つようにしむける。アツコが指名手配となった後、再び命を[redacted]とし[redacted]。



ASSASSIN B

ID No:A56940682

アツコがアキラのマンションへ着き、ホッとしているところを暗視スコープを使い、暗闇に乗じて襲ってくる。



ASSASSIN C

ID No:A58628728

アツコを謎の男達からニードルガンで助ける。

しかし、その目的は誰にも邪魔されずにアツコを殺すことだった。



ASSASSIN D

ID No:A59700168

アキラが潜伏期間中に友達になった男。POLICEに追われるアツコをかくまうが、本当の狙いは別にあった。



ASSASSIN E

ID No:A57911631

次々に刺客がアツコに殺されていく中、[redacted]として[redacted]。

武器は火炎放射器。

START

●ゲームの始め方



<オープニング・ムービー>

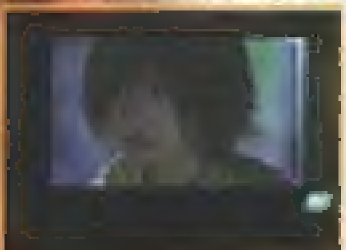


<タイトル画面>

プレイステーション本体に「ALIVE」のディスクを正しくセットし、電源を入れて下さい。しばらくすると、オープニングムービーが再生されます。オープニングムービーは、×ボタンで途中終了する事ができます。オープニングムービーが終了すると、タイトル画面が表示されます。ゲームを最初から始めたい時は「NEW GAME」を、ゲームを途中から始めたい時は「CONTINUE」を、方向キーで選択し、○ボタンで決定して下さい。「MANUAL」ボタンを選択すると、ゲームのプレイ方法をムービー仕立てで教えてくれます。「ALIVE」ではアナログコントローラを使用すると、バイブレーション機能（振動）が楽しめます。バイブレーション機能は、通常ONの状態です。もし、バイブレーション機能をOFFにしたい場合は、方向キーの下「VIBRATOR ON」ボタン選択し、○ボタンを押します。すると、「VIBRATOR OFF」にボタンが変わり、バイブレーション機能もOFFになります。再び○ボタンを押すと、「VIBRATOR ON」にボタンが変わり、バイブレーション機能がONになったお知らせとして、コントローラから振動が伝わります。バイブレーション機能のON／OFFは、このスタート画面でしかできません。ゲーム途中で、アナログモードスイッチを入れて、LEDを点灯させてもバイブレーション機能はONにはなりません。ただし、「CONTINUE」でゲームを途中から始めた場合は、バイブレーション機能はセーブされた時の状態になります。

●セーブ

セーブは常にPDA（パーソナル・デジタル・アシスタンツ）画面のセーブモードで行われます。画面の右下にPDAアイコンが表示されている時に、△ボタンを押すとPDA画面が表示されます。方向キーの左右で、画面上部のボタンから"SAVE"を選び、○ボタンで決定するとセーブ画面が表示されます。セーブは4ファイルまで可能です。それ以上セーブしたい場合は、前にセーブしたセーブファイルを選び、その上にセーブして下さい。"上書きしてよろしいですか"と聞かれたら、「YES」を選択して下さい。セーブデータが上書きされます。なお、「ALIVE」はメモリーカード差込口1にしか対応していません。PDA画面の他のモードに関しては、15ページのPDAで詳しく説明します。



<PDAアイコン表示画面>



<セーブモード画面>



<セーブ画面>

●セーブデータから続きを楽しみたい方へ

ます。前回のプレイ終了時のCD-ROMをプレイステーション本体にセットし、次にセーブデータが入っているメモリーカードをプレイステーション本体のメモリーカード差込口1にセットしたのち、電源を入れます。
CD-ROMがDISC2か3ならば、ロード画面が表示されます。方向キーでファイルを選択し、○ボタンで決定して下さい。セーブデータがロードされ、画面は前回セーブされた時と同じセーブ画面へと変わります。
CD-ROMがDISC1ならば、オープニングムービーが再生されたあとに、タイトル画面が表示されます。「CONTINUE」を方向キーで選択し、○ボタンで決定して下さい。ロード画面が表示されます。



＜ロード画面＞



＜セーブ画面＞

●ゲームの途中でディスクを交換する際の注意

「ALIVE」はCD-ROM3枚組なので、ゲームの途中でディスクを交換しながらストーリーを進めていきます。ディスクが終わると、"DISC○に入れ替えて下さい"、"リセットボタンは押さないで下さい"とメッセージが記されたイメージ画が表示されます。（○には1～3の交換するディスクの番号が入ります）。電源を切らずに本体のディスクホルダーを開け、現在セットされているCD-ROMを指定された番号のCD-ROMと交換して下さい。ディスクホルダーを閉じると、ゲームの続きを自動的に楽しむことができます。そのとき、絶対にリセットボタンを押さないで下さい。リセットボタンを押すと、ディスクホルダーを閉じてもゲームの続きが自動的には始まらなくなります。

もし、あやまってリセットボタンを押した場合は、画面にロード画面が表示されます。イメージ画が表示される直前のセーブデータがある場合は、それを方向キーで選択し、○ボタンで決定して下さい。そうすると、ゲームの続きを楽しむことができます。それ以外のセーブデータを選んだ場合は、選んだセーブデータに応じたCD-ROMに入れ替えて下さい。



＜ディスク交換イメージ＞

OPERATION

アナログコントローラ

セレクトボタン
使用しません

ボタン
使用しません

L1・L2ボタン
使用しません



方向キー
モードセレクション、コースセレクション、
マルチセレクションでの選択肢の決定
コースタイミングでのタイミング反応
ボタンの選択

左スティック
対応していません

アナログモードスイッチ
対応していません

右スティック
対応していません

●PDA画面
モードの選択（左右）
ワードの選択（左右）
ページ送り（上下）
ファイルの選択（上下）
アイテムの選択（上下）

スタートボタン
オープニングムービーをキャンセルします
ミニゲームをスタートします
ミニゲーム中にヘルプ画面を表示します

R1・R2ボタン
使用しません

△ボタン
PDAアイコンが画面右下に表示中に、
△ボタンでPDA画面を表示します

○ボタン
シュートタイミングでのタイミング反応
選択したボタンの決定

●PDA画面
選択したファイルの決定
選択したボタンの決定
選択したワードの決定
通信会話の送りボタン

×ボタン
オープニングムービーのキャンセル
ミニゲームのプレイ中のマニュアルのキャンセル

●PDA画面
選択されたファイルのキャンセル
PDA画面の終了

コントローラの場合



操作に関しては、左記の操作方法と同じです。
ただし、バイブレーション機能（振動）には対応しません。

アナログコントローラについて
『ALIVE』はアナログコントローラのバイブレーション機能（振動）に対応しています。銃を撃つシーンや、爆発シーンなど、ムービーに合わせてアナログコントローラが振動し、バーチャルな操作感を楽しめます。『ALIVE』では、バイブレーション機能は通常ONの状態です。バイブレーション機能の操作方法については、5ページのゲームの始め方をご覧ください。また、アナログモードスイッチを入れ、LEDを点灯させても、左右のスティックではプレイすることはできません。アナログコントローラ使用の場合は必ず方向キーをご使用ください。

ACTION FRAME（アクションフレーム）について
『ALIVE』ではじっくり見るドラマ部分とインタラクティブにプレイするアクション部分とに構成が分けられています。ドラマ部分ではムービーの枠は黒ですが、アクション部分が近づくと、ムービーの枠が赤く（アクションフレーム）なります。さらに、操作をあやまり、アツコがピンチになっていくと、赤いアクションフレームは点滅します。



＜アクションフレーム表示中の画面＞

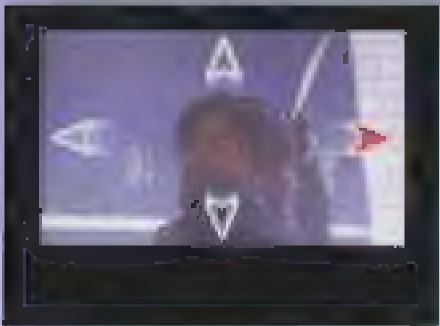
GAME SYSTEM



<シュートタイミング画面>

SHOOT TIMING

アツコが銃を構えると、画面に青いサイトが現れます。
そのサイトが相手に対して赤くロックオンしている間に○ボタンを押せれば、アツコが銃を発砲し、相手を倒すことが出来ます。
赤くなる前に押すと、早押しとみなされ、銃を撃つことができません。
サイトは銃を撃つ以外に、殴る、蹴る、などアツコが他の攻撃をするときにも現れます。



<コースタイミング画面>

COURSE TIMING

敵の攻撃と共に、画面には四方に広がる矢印が現れます。
その四方の矢印の一つが赤く色づきます。
その矢印が赤く色づいている間に、赤くなった矢印と同じ方向に方向キーを押すことが出来れば、アツコがその方向へ逃げ、危険を回避する事が出来ます。
これは、他にもカーアクションで車を操作する時などにも現れます。



<モードセレクション画面>

MODE SELECTION

アツコが判断を迫られたとき、画面下に赤・青・黄の三つのモードが現れます。
赤はACTIVE、積極的・直接的な行動の意味です。
青はCLEVER、機転・機知に富んだ行動の意味です。
黄はESCAPE、保守・消極的な行動の意味です。
中央のタイムバーが無くなる前に方向キーの左（ACTIVE）、上（CLEVER）、右（ESCAPE）、でいずれかを選択し、アツコの次の行動を決定します。

アンコの今後の行動を具体的に選択する事が出来ます。
画面が…から…のマルチ画面となり、目的の物や状況の映像が現れます。
中央のタイムゲージが無くなる前に方向キーの左で左矢印、上で上矢印、右で右矢印を選択し、マルチ画面内のいずれかのアンコの行動を決定することができます。



<マルチセレクション画面>

敵に追われて、アンコが進む方向を選択しなければいけない時、画面下にアンコが進むことが可能な方向の矢印が現れます。
中央のタイムゲージが無くなる前に方向キーの左で左矢印、上で上矢印、右で右矢印を選択し、アンコの進む方向を決定することができます。

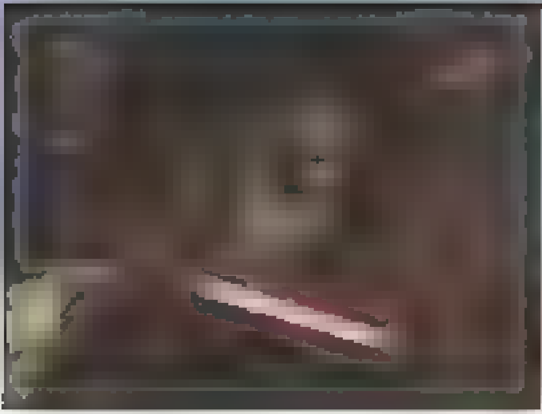


<セレクション画面>

「ALIVE」では、アンコがPDAを使ってセキュリティプログラムへ侵入する場面があります。その場面は、そのままミニゲームとして楽しむことが出来ます。ミニゲームは2種類あり、どちらも画面にマニュアルが出てきます。プレイ中に操作が分からなくなったら、スタートボタンでヘルプ画面を呼び出せます。ミニゲームはクリアするまで何度でもプレイする事ができます。ゲーム内のマニュアルをよくお読みになって、ミニゲームを始めて下さい。



<ミニゲーム画面>



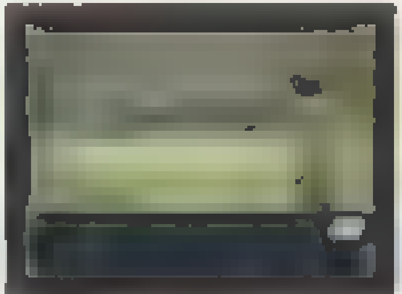
PDA Personal

（パーソナル・デジタル・アシスタント）

PDAとは、アンコが使用する携帯型の端末のことです。
本編では2種類のPDAを使うことになりますが、どちらのPDA画面も同じ操作方法になります。PDAでは、通信による会話やニュースやアイテムの説明ができます。それらのデータをよく見ることで『ALIVE』の世界観や物語の背景を知ることができます。
さらに、PDAの中にはALIVEを本当のエンディングへ導くデータが隠されています。そのデータを見ていなければ、本当のエンディングへは辿りつけません。

●PDA画面の表示の仕方

画面の右下にPDAアイコンが表示されている時に□ボタンを押すとPDA画面が現れます。PDA画面では常に画面の下部に操作方法が表示されています。PDA画面からムービーへ戻る場合は×ボタンで戻ることが出来ます。これはPDA内の各モードを使用している場合も、常に×ボタンで一階層ずつ戻っていきます。PDA画面は任意にPDA画面を表示する以外に、強制的にムービーからPDA画面が表示される場合があります。その場合、あるモードへ直接繋がり、モード画面での操作が終わるとムービーへ直接戻される場合があります。



〈PDAアイコン表示画面〉

●モードの選択

PDAにはACCESS、NEWS、ITEM、SAVEの四つのモードがあります。
方向キーの左右で、画面上部のボタンから使用するモードを選択し、○ボタンで決定して下さい。
選んだモードの画面が表示されます。各モードからは×ボタンで戻れます。



〈PDAデフォルト画面〉

●セーブ画面

『ALIVE』のこれまでのゲーム内容を記録するモードです。
詳しい操作方法は5ページのセーブをご覧ください。

●ACCESS（アクセスモード）

文字表示で通信会話をするモードです。
右枠の通信リストから、通信したい人物や場所を方向キーの上下で選択し、○ボタンで決定します。
通信が繋がると、左の枠が開かれ、会話が表示されます。会話は○ボタンで順に表示されていきます。
途中、選択画面が現れたら、方向キーの上下でアイコンのセリフを選択し、○ボタンで決定して下さい。会話が終了したら×ボタンで戻れます。



<ACCESS画面>



<ACCESSから会話選択画面>

●NEWS（ニュースモード）

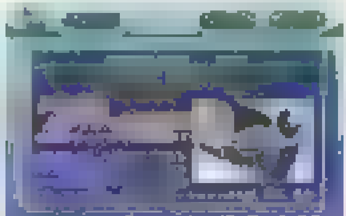
PDAへ自動配信されるニュースを読むモードです。新しいニュースが配信されているとNEWSボタンが点滅しています。NEWS画面では、階層カテゴリが表示されます。一度も読んでいないニュースは、全て「未読」の中に納められています。○ボタンで「未読」の中の「見出し」が表示されます。方向キーの上下で「見出し」を選択し、○ボタンで決定するとニュースが表示されます。ニュースは方向キーの上下でページ送りができます。ニュースの中に赤枠で囲まれているキーワード（文字）があったら○ボタンを押して下さい。そのキーワードにリンクした新たなニュースが表示されます。キーワードが二つある場合は、方向キーの左右で赤枠が移動し、キーワードを選択できます。ニュースからは×ボタンで戻りますが、はじめて読んだニュースは、閉じる前にメッセージが出て自動的にカテゴリに収納されます。次に同じニュースを読む場合は、収納されたカテゴリからそのニュースの見出しを選んでください。



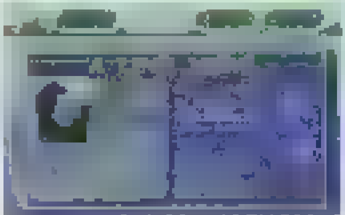
<NEWS画面（カテゴリ選択画面）>



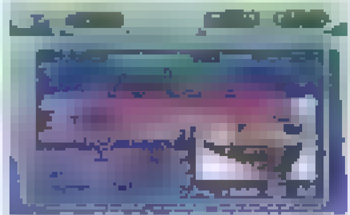
<NEWS見出し選択画面>



<NEWSテキスト表示画面>



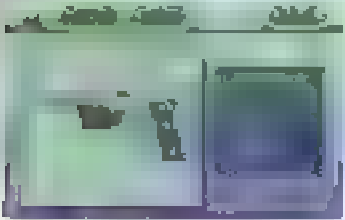
<NEWSリンクファイル画面>



<NEWSカテゴリ[illegible]表示画面>

● ITEM（アイテムモード）

アンジが所持しているアイテムやコピーしたデータの閲覧ができるモードです。
右枠のアイテムリストから、閲覧したいアイテムを方向キーの上下で選択し、 ボタンで決定すると、アイテム情報が表示されます。アイテム情報は方向キーの上下でページ送りができます。マップは ボタンで拡大されます。カード情報にはボタンがあり、方向キーの上下でボタンを選択し、 ボタンで決定すると、隠された情報を閲覧できます。情報の中には、ある条件を満たさなければ閲覧できないものもあります。情報からは×ボタンで戻ります。



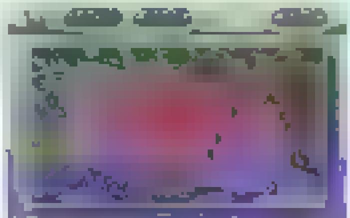
<ITEM画面>



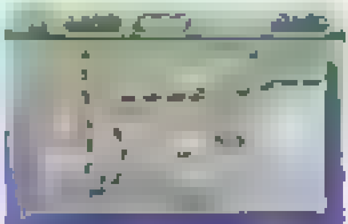
<ITEM情報画面>



<ITEMカード画面>



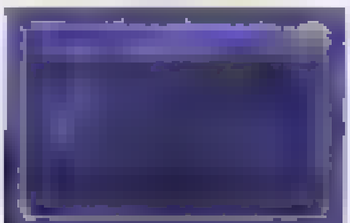
<ITEMマップ画面>



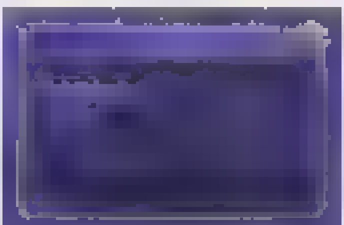
<ITEMマップ拡大画面>

●NC（Network Computer）

アキラの部屋で、アンジが使用するNC（ネットワークコンピュータ）を使う場面があります。NCの操作はPDAのNEWS画面と似ています。まず、方向キーの上下でカテゴリを選択し、 ボタンで決定します。次に選んだカテゴリ内の見出しが表示されますから、また方向キーの上下で目的の見出しを選択し、 ボタンで決定してください。すると、目的のファイルが開きますので、方向キーの上下でページを送って閲覧してください。



<NCカテゴリ画面>



<NC見出し画面>



<NCファイル画面>

THEATER MODE

● 「ALIVE」では、本当に良いストーリーは一本の軸の上にしか存在しないという考えのもと、マルチエンディングではなく「深層エンディング」という物語の深さによるエンディングの違いがあります。アンコを取り巻く全ての謎が明かされる深いエンディングと、いくつかの謎が残されたまま物語が終わる浅いエンディングです。本当のエンディングへと導くカギはPDAが握っています。通信による会話や、配信されるニュース、アイテム情報など、「ALIVE」の物語の謎をPDAにより解こうとし、ある条件を満たした場合のみ、深いエンディングへと辿りつけます。
浅いエンディングで終わるとエピローグが表示されるだけですが、深いエンディングで終わるとエンディングロールが再生されます。さらに、ディスクをDISC3からDISC1に入れ替えると、スタート画面に「THEATER MODE」という新しいボタンが増えています。そのボタンを選択すると今まで体験してきた「ALIVE」のムービーが自動再生されます。あなたのALIVEの上映です。
（THEATER MODEではPDA画面は再生されません。また、アナログコントローラ使用の場合バイブレーション機能が自動的にOFFになります）



〈THEATER MODE説明画面〉



〈THEATER MODEタイトル画面〉

CAST

今井 陽子◆いまい ようこ



H166 B80 W59 H88

主な出演歴
京成スカイライナー
ミリオンカード
エリエールティッシュ
ベンザALスプレー

有吉 崇匡◆ありよし たかまさ



主な出演歴
アドマティックボード
舞台「少年の事件簿」
WOWOW J Movie「レムナント6」

MOVIE STAFF

監督◆服部 勤



主な作品
「バカヤロー3」「こんなに暑いのにどうするの」1990年 監督作品
1993年 監督作品
1994年 監督作品
1995年 監督作品
1996年 監督作品

PRODUCT

撮影◆藤石 修



主な作品
「もっとおかく」1992年 撮影作品
1994年 撮影作品
撮影作品
1995年 撮影作品
1995年 撮影作品

デジタルFX◆鹿角 剛



主な作品
「不夜城」1988年 撮影作品
1988年 撮影作品
1992年 撮影作品

CG監督 プロダクションデザイナー◆平井 淳郎



主な作品
1989年 撮影作品
1990年 撮影作品
1991年 撮影作品
1993年 撮影作品
1994年 撮影作品
1994年 撮影作品

音楽◆長嶋 秀幸 ダウザー



主な作品
「THE MASTER OF SHIATSU」石井聰亙監督作品 1989年 撮影作品
「PINOCCHIO ROUTE964」福居ショウジン監督作品 1990年 撮影作品
「TOKYO BLOOD」石井聰亙監督作品 1993年 撮影作品
「ANGEL DUST」石井聰亙監督作品 1993年 撮影作品
1996年 撮影作品

グラフィックデザイナー◆ビッグショット



関根貴久男 藤沢 裕 小西 剛

主な作品
1996年 撮影作品
1996年 撮影作品
1995年 撮影作品
1996年 撮影作品
1993年 撮影作品
1996年 撮影作品
マルタイの女 1997年 撮影作品

ION NOTE

Navigator-L1



Size W：174　D：105　H：32
Weight：380g
CPU：TRM180
入力デバイス：データカード・赤外線・通信。
強度の高いセラミックをボディに採用。側部ボタンでデータ画面から、画像まで切り替える新しい入力方法を採用すが、操作感に難があり、これ以降不採用となる。OSに新代アシスタント機能がオプションで付属。ユーザー設定のデータを常に自動登録する事が出来る。音声自動入力に初めて対応。しかし、日本語限定であった。

GEAR BOMB



Length：135mm／Weight：180g
タイプ：手榴弾
従来の手榴弾に回転式のタイマーを付け、最短10秒から最長3600秒まで自由に設定できる。また、安全設計にも優れていて、ボディ部分にある指紋の圧力（人が軽く握った程度）が加わっている間は爆発しない構造にな[illegible]。プッシュボタン方式でワンプ[illegible]可動、ダブルプッシュで停止と[illegible]

EXA-32L ◆ アツコ使用の銃



Length：274mm／Weight：720g
口径：10mm
タイプ：オートマチックレーザーサイト標準装備。軍警で正式採用されているEXA-32のレーザーサイト標準装備タイプである。十分な強度と軽量化が計られ、射撃時間を考えレーザーサイトが装備されている。撃ち手を選ばぬ銃としてロングセラーとなっている。

POLICE マイクロ・ウージー



Length：440mm
Weight：3700g
口径：9mm／タイプ：[illegible]
[illegible]

44POLICE SPECIAL



Length：[illegible]
Weight：[illegible]
口径：[illegible]
タイプ：ロータリーボルト・オペレーテッド
[illegible]ハードコードタイプであるポリス・スペシャル。[illegible]

STAFF

企画・制作 原 [illegible]
プロデューサー 杉崎 隆行
宮川 [illegible]
監督 [illegible]
助監督 大津 [illegible]
撮影 [illegible]
照明 [illegible] 正[illegible]
中丸 文[illegible]
美術 山崎 [illegible]
編集 [illegible]
録音 [illegible]
記録 [illegible]
[illegible]
VE [illegible]
大[illegible] 仁
[illegible]
音楽 [illegible]
[illegible]
キャスティング [illegible] 洋子
制作担当 [illegible]
小宮 [illegible]
プログラマー 佐々木 [illegible]
デジタルFX [illegible]

ストーリー 橋本 [illegible]

CG製作 [illegible]
[illegible] ひとみ
[illegible]
長谷川 [illegible]
[illegible]
大河原 浩一
[illegible]
[illegible]

ゲームCG [illegible]
ゲーム制作 [illegible]
サブプログラマー [illegible]

撮影助手 [illegible]
照明助手
[illegible]

CA 谷口 [illegible]
撮影助手
[illegible] 西村 [illegible]
[illegible] 一[illegible]
照明
平井 浩一 [illegible] 久[illegible]
特機 [illegible]
[illegible] たけし 浜[illegible]
演出助手
[illegible]
[illegible]
スタイリスト [illegible]
衣裳 立川 [illegible]
メイク
[illegible] はるみ
小道具 [illegible]
[illegible]
[illegible]
EEDオペレーター [illegible]
EEDアシスタント [illegible]
MAオペレーター [illegible]
[illegible] 二[illegible]本 [illegible]
カンアドバイザー
[illegible] 小[illegible]
[illegible]
[illegible]
スチール [illegible]
製作主任 [illegible]
製作進行 [illegible]
進行助手 [illegible]

協力 [illegible]

協力
[illegible] テアトルアカデミー
[illegible]AV[illegible] [illegible]プロダクション
SONY PCL
[illegible] BOCO
[illegible] (株) マエノ
[illegible] 株式会社 東京マルイ
ビッグショット マルシン
オフィス・リー アンクル
アスカロケサービス
[illegible]レーシング
カーフィット
[illegible]プロデュース
アーバンアクターズ

CAST

アツコ [illegible]
アキラ [illegible]
ゼン [illegible]
リョウ 伊沢 弘
ヨウコ [illegible]
[illegible]
刺客A [illegible]
B [illegible]
C [illegible]
ヒロキ [illegible]
刺客E [illegible]
[illegible]
幼い頃のアツコ [illegible]
ヒロキ2 [illegible]
アツコスタント [illegible]
刺客Eスタント [illegible]
ガードマン [illegible]

[illegible]

使用上のご注意

●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ"PlayStation"専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC J マークあるいは の表記のある日本国内仕様の"PlayStation"にのみ対応しています。海外仕様の"PlayStation"では使用できません。●「解説書」および"PlayStation"本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを"PlayStation"本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトル等が印刷されている面）を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後"PlayStation"本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。またシール等を貼付したり、鉛筆、ペン等で文字や絵を書かないでください。●ディスクが汚れた時はメガネふきのような柔らかい布で、内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取ってください。その時、レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対に使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房器具の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●"PlayStation"本体をスクリーン投影方式のテレビ（プロジェクション・テレビ）には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。



SLPS 01527~9